



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社セイヒョー

コード番号 2872

URL <http://www.seihyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯塚 周一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 田辺 俊秋

(TEL) (025) 386-9988

四半期報告書提出予定日 平成27年10月15日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	2,362	1.3	91	178.4	101	127.7	95	176.1
27年2月期第2四半期	2,330	△5.0	33	△38.4	44	△35.0	34	△15.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	23 17	—
27年2月期第2四半期	8 38	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	2,626	1,169	44.5
27年2月期	2,096	1,046	49.9

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 1,169百万円 27年2月期 1,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	3 00	3 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	2.4	20	—	35	—	28	—	6.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年2月期2Q	4,320,810株	27年2月期	4,320,810株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	220,895株	27年2月期	219,772株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年2月期2Q	4,100,350株	27年2月期2Q	4,102,884株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は、平成27年10月14日に終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関しましては、2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュフロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景に、企業収益の改善が見られ、雇用環境の改善や設備投資の持ち直し等が継続し、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、個人消費の弱さが残るとともに、海外経済の減速が懸念されるなど、先行きについては依然として不透明な状態が続いております。

国内食品業界におきましては、消費者の根強い節約志向が続く中で、円安による原材料価格の上昇による製造コストの上昇や、低価格化による販売競争等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社は、経営環境の変化に対応し、さらなる企業価値向上に取り組むことを基本方針とする中期経営計画「Challenge For Next Century」に基づいて、将来の持続的成長の実現に向けた取り組みを積極的に展開いたしました。また、平成28年3月に創業100周年を迎えるに当たり、自社の企業価値を見直し、現状の経営課題を解決する契機とすること、及び会社の歴史を振り返り今後の事業の方向性を構築・発信していくことを目的として、業績の向上や知名度の向上、社内改革等に積極的に取り組みました。

当第2四半期累計期間の売上高は、自社製品の販売が順調に推移し、OEM製品(相手先ブランド名製造)の販売数量についても前期に比べ増加したことから、2,362百万円(前年同期は2,330百万円)となりました。

損益面については、自社製造品の販売強化を積極的に行い、製造工場の操業度を向上させるとともに、製品の製造ロスの削減や販売費及び一般管理費の節約、営業効率の改善に努めました。その結果、営業利益は前年より改善し91百万円(前年同期は33百万円)となりました。経常利益は101百万円(前年同期は44百万円)、四半期純利益は95百万円(前年同期は34百万円)となりました。なお、当社は夏季に集中して需要が発生するため、特に第2四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ著しく高くなる傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ、530百万円増加し、2,626百万円となりました。資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加額253百万円、受取手形及び売掛金の増加額404百万円、商品及び製品の減少額180百万円、投資有価証券の増加額37百万円等であります。負債は前事業年度末に比べ407百万円増加し、1,456百万円となりました。負債の増減の主なものは、買掛金の増加額148百万円、短期借入金の増加額250百万円、未払金の減少額24百万円、未払消費税等の増加額20百万円等であります。純資産は前事業年度に比べ123百万円増加し1,169百万円となりました。純資産の増加の主なものは、利益剰余金の増加額95百万円、有価証券評価差額金の増加額29百万円等であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

「平成27年2月期 決算短信(非連結)」(平成27年4月14日付)にて公表いたしました平成28年2月期の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、2期連続の夏場の天候不順による主力製品(アイスクリーム等)の販売伸び悩み等により、平成26年2月期(第103期事業年度)及び平成27年2月期(第104期事業年度)に連続して営業損失を計上したことから、継続企業の前提に関する重要事象の存在を認識しております。

しかしながら、当社は当該状況を早期に解消するため、中期経営計画「Challenge For Next Century」における施策である①営業の強化②経営基盤の強化③業務の効率化、標準化④製品ブランド力の強化⑤コストダウン⑥人材の育成に積極的に取り組むと共に、平成27年2月23日の取締役会で、佐渡工場のアイスクリーム及び笹だんごの製造を中止し、アイスクリームの製造は新潟工場へ、笹だんごの製造は三条工場へ集約することを決定し、経費の削減及び生産効率の改善を推進しております。

これらの施策を講じながら収益力の回復に努めており、今後の運転資金も十分に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	138,846	392,490
受取手形及び売掛金	261,948	666,601
商品及び製品	501,777	321,152
仕掛品	-	2,373
原材料	47,601	50,053
繰延税金資産	1,223	1,223
その他	7,789	15,048
貸倒引当金	△1,930	△4,513
流動資産合計	957,256	1,444,428
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	448,115	430,039
機械及び装置(純額)	160,586	156,329
土地	224,792	224,792
リース資産(純額)	16,979	18,245
建設仮勘定	28,080	56,160
その他(純額)	19,007	18,501
有形固定資産合計	897,562	904,069
無形固定資産		
リース資産	18,609	14,840
ソフトウェア仮勘定	4,200	8,736
その他	6,319	5,815
無形固定資産合計	29,129	29,391
投資その他の資産		
投資有価証券	168,860	206,644
その他	44,508	42,596
貸倒引当金	△1,302	△297
投資その他の資産合計	212,066	248,943
固定資産合計	1,138,758	1,182,404
資産合計	2,096,015	2,626,833

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	185,128	333,267
短期借入金	500,000	750,000
リース債務	13,954	13,673
未払金	80,109	55,249
未払費用	34,907	39,836
未払法人税等	1,903	8,128
未払消費税等	14,588	35,366
賞与引当金	16,292	15,963
その他	8,161	6,330
流動負債合計	855,046	1,257,815
固定負債		
リース債務	22,503	20,562
繰延税金負債	40,796	48,940
退職給付引当金	109,062	107,166
役員退職慰労引当金	405	405
資産除去債務	17,010	17,012
その他	4,993	5,033
固定負債合計	194,771	199,120
負債合計	1,049,817	1,456,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	216,040	216,040
資本剰余金	22,686	22,686
利益剰余金	784,297	879,317
自己株式	△49,265	△49,646
株主資本合計	973,758	1,068,397
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	72,438	101,500
評価・換算差額等合計	72,438	101,500
純資産合計	1,046,197	1,169,897
負債純資産合計	2,096,015	2,626,833

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	2,330,126	2,362,473
売上原価	2,019,161	2,003,353
売上総利益	310,965	359,120
販売費及び一般管理費	277,934	267,144
営業利益	33,030	91,975
営業外収益		
受取利息	172	142
受取配当金	1,350	1,309
不動産賃貸料	7,082	6,756
受取手数料	1,313	1,163
雑収入	4,512	3,245
営業外収益合計	14,431	12,616
営業外費用		
支払利息	1,862	2,019
不動産賃貸費用	1,020	1,001
雑損失	-	21
営業外費用合計	2,882	3,042
経常利益	44,579	101,549
特別損失		
固定資産除却損	366	0
減損損失	971	-
特別損失合計	1,337	0
税引前四半期純利益	43,241	101,549
法人税、住民税及び事業税	3,331	6,622
法人税等調整額	5,505	△92
法人税等合計	8,837	6,530
四半期純利益	34,404	95,019

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	43,241	101,549
減価償却費	54,961	51,439
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,128	△1,895
賞与引当金の増減額(△は減少)	146	△328
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,183	1,578
受取利息及び受取配当金	△1,523	△1,452
支払利息	1,862	2,019
固定資産除却損	366	0
減損損失	971	-
売上債権の増減額(△は増加)	△476,774	△404,652
たな卸資産の増減額(△は増加)	150,285	175,799
仕入債務の増減額(△は減少)	154,604	148,139
未払金の増減額(△は減少)	17,802	△13,693
未払消費税等の増減額(△は減少)	23,804	20,777
未払費用の増減額(△は減少)	20,039	4,928
差入保証金の増減額(△は増加)	△122	△100
その他	2,576	△7,487
小計	△443	76,620
利息及び配当金の受取額	1,523	1,452
利息の支払額	△1,862	△2,019
法人税等の支払額	△1,648	△1,343
法人税等の還付額	161	391
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,270	75,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36,432	△58,505
無形固定資産の取得による支出	△4,000	△4,716
投資有価証券の取得による支出	△477	△485
その他	△2,311	529
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,221	△63,177
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	150,000	250,000
リース債務の返済による支出	△8,866	△7,896
自己株式の取得による支出	△323	△381
配当金の支払額	△11,759	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	129,050	241,718
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	83,558	253,643
現金及び現金同等物の期首残高	119,024	138,846
現金及び現金同等物の四半期末残高	202,583	392,490

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、冷凍食品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。